

大阪大学生協 学生委員会 防災企画

第197号



[激甚災害支援
・防災]

取り組み概要

日時：11月14日～11月26日
場所：各キャンパス食堂に掲示
回答者数：250人
ビラの設置枚数：約1300枚

目的：近年災害が多発しているものの、実際に災害に備えて準備ができている人はそれほど多くない。そこで、食堂の飛沫防止パネルに防災クイズを設置し参加してもらうことで、組合員が防災について正しい知識を身につけ、一人一人の防災意識を少しでも上げることが目的とする。

01 避難場所から考える防災

避難場所と水害における対応の発信

食堂の飛沫防止パネルなどに防災に関するミニクイズを掲示し、目標の「組合員の防災意識の向上」を達成するために、まずは地震・洪水時の具体的な避難場所についてのクイズが作成されました。こちらは、解説で豊中市の避難場所の紹介が、市のHPのリンク付きで掲載されていました。

組合員にとって、大学生活の大部分を過ごす身近なキャンパス付近の避難場所を確認することで、自分事として捉えられる工夫がなされていました。



02 備蓄品から考える防災

防災グッズの存在をより身近に考える

身の回りに当たり前にある「水」に焦点をあて、災害時に、1人が1日に必要とする飲料水の量を考えるクイズがありました。それをもとに、防災グッズについて考えるきっかけづくりの工夫がなされていました。

先ほどのクイズとあわせて、「避難場所についてよく知らなかったからためになった。」「実際に災害が起こった時に今のままでは自分は何もできないと気づけた。」「これを機に防災グッズをそろえてみようと思った。」などの感想が寄せられ、組合員とのつながりが形成されていました。



03 災害時の対応から考える防災

組合員の安全を確保するために

正しい避難方法を身につけるために、よりリアルなケースを想定した災害時の対応に関する問題が掲載されていました。これにより、組合員の安全・安心を確保するための啓発がなされていました。

今回は、3種類のクイズの全てにおいてGoogle Formsで回答を受け付け、そのアンケートにて、「今回のクイズを通して災害に向けた準備や災害時の対応について学べましたか」という質問があり、組合員の理解度がフィードバックできるシステムが形成されていました。



つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [中村 憲太郎]
Nakamura.Kentarou@univ.coop